

平成15年7月28日

## 日清製粉グループ 第1四半期連結決算

**第1四半期は経常利益54億56百万円と順調に推移。通期業績予想も当初予想通りで売上高、経常利益とも過去最高を更新の見込み。**

株式会社日清製粉グループ本社（社長 正田 修）の平成16年3月期第1四半期は、売上高1,153億48百万円、経常利益54億56百万円と順調に推移しました。各事業別の業績は次の通りであります。本年4月に連結子会社化したオリエンタル酵母工業(株)は食品・バイオ部門とも好調に推移しました。また、健康食品事業においては、健康食品素材として注目されているコエンザイムQ10を中心に売上を伸ばし、配合飼料・ペットフード事業でも積極的な拡販施策の結果、業績は順調に推移しました。主力の製粉事業、加工食品事業及びメッシュクロスなどその他事業においても、市場環境は極めて厳しい状況下にありましたが、概ね当初見通し並みの業績となりました。

通期業績予想は、当初予想通り各事業において出荷伸張を図るとともに、引き続き各事業におけるコストダウンを実現すること等で、売上高は4,430億円（前期差+407億円、前期比+10.1%）、経常利益は222億円（前期差+23億円、前期比+11.4%）と過去最高を更新し、当期純利益も112億円（前期差+6億円、前期比+5.9%）と増益となる見込みです。

以 上